



先輩の胸を
借りにいこう

弁護士・修了生オフィスアワー

専門職大学院係で申込メール受付中！

- ・せっかく書いた司法試験の論文や定期試験の過去問の答案を合格者にみてもらいたい
- ・定期試験が不安！進級できるのか不安！
- ・どうやって勉強すればいいの？

修了生オフィスアワー制度は、仙台で弁護士として活躍中の修了生に、様々な学習相談を行うことができる制度です。相談にのる先生方自身、東北大学法科大学院を修了していますので、より身近な相談相手として気軽に相談することができます。

利用方法

- ・ 専門職大学院係にメール(officehour@law.tohoku.ac.jp)で申込
- ・ どの先生に質問したいのか、「どういうことを質問したいのか」「何を添削してもらいたいのか」なるべく具体的に
- ・ 添削してほしい答案があれば事前に提出してください

合格者の利用方法

修了生オフィスアワーでは主に**司法試験の過去問の添削**をしていただきました。はじめは、優秀な弁護士の先生に答案を見てもらおうと厳しくダメ出しをされたり、呆れられてしまうのではないかとドキドキしていたのですが、そんなことはなく、自分の拙い答案も丁寧に読んでいただき、優しく指導していただきました。

かつて**同じ受験生であり、司法試験に合格した先輩ならではの視点**でアドバイスを、対面で、じっくりと時間をとっていただきながら指導していただけたのが本当に貴重な機会でした。時間配分との関係での答案戦略や答案上押えるべきポイント、解説本や出題趣旨、採点実感だけでははっきりとはわからないところ等、授業や友人同士の答練、予備校での答練では満足に聞くことのできないことについてはっきりさせることができたのがよかったです。

また、自分は字が汚かったので(笑)、実際に時間を測って答案を書き、「さすがにこの字は読めない！」というような指導をいただいたのも本番で安心して答案を書くことに繋がりました。

まずは、受講してみて、自分に合う先生を見つけてみてください。どの先生も後輩想いでローに熱い思いを持っているので、必ず、最強の味方になること間違いなし！

米澤孝太さん(R02合格者・既習出身)

答案の書き方がわからない方、自分の書いた答案について別の視点から指摘をしてほしい方は是非修了生オフィスアワーをご利用ください。

私は、友人とともに修了生オフィスアワーを申し込み、定期的に司法試験の過去問を添削していただいていた。その際、実務経験を踏まえた事実の具体的な評価や民事及び刑事手続きについて具体的な流れを踏まえた説明をして下さり、**友人同士での勉強会のみでは得られない視点**や知識を得ることができました。ある程度知識はあるけれど、合格のためにもう一步成長したいという方(特に事実の使い方がいまいちわからない方)は是非受講をお勧めします。

また、答案の書き方が全く分からない未修の方にも修了生オフィスアワーは非常におすすめです。早い段階で答案を書くためのポイントがわかっているれば、その後の学習もメリハリのあるものにできますし、合格もぐっと近づくと感じます。初歩的なことでわざわざ受講するのも気が引けるという気持ちは非常によくわかります(私もそうでした)が、担当の先生は面倒見のいい方ばかりですので真剣な姿勢を見せれば大丈夫です。まずは一度受講を検討してみてください。

勉強方法は人それぞれ、修了生オフィスアワーを利用するかどうかも人それぞれです。ただ、無料で合格者の添削を受けることができる機会はかなり貴重です。まずは一度受講してみて、自分に合えば是非勉強の選択肢に含めていただければと思います。

長沼 駿さん(R02合格者・既修出身)

修了生紹介

赤石圭裕先生

(あかいしきよひろ・弁護士・未修出身)

制度開始の2013年以降、100件以上のオフィスアワーを担当してきました。主に刑事系の答案添削を行っています。未修者かつ司法試験不合格経験者の立場からのアドバイスが可能です。

実務家の立場から「読んでスッと入ってくる文書か」という点を中心にアドバイスをするよう心掛けています。話しやすさには定評があるはずです(間違っていたらご指摘下さい汗)。積極的な申込みをお待ちしております。

【修了生の経歴】

青森県弘前市出身。大学卒業後4年間の社会人経験を経て2006年に東北大学法科大学院未修者コースに入学。司法試験には二回目の受験で合格。2011年弁護士登録。



都築直哉先生

(つづきなおや・弁護士・未修出身)

「考えた結果を自分の言葉で表現しよう」

オフィス・アワーを担当していて一番感じることは、

「せっかく考えているのになぜ答案に表現しないのだろう」

ということです。多くの方は、頭の中では良い検討ができています。しかし、残念ながら頭の中は採点してもらえません。

一緒に、自分の「頭の中」を「答案」の形で表現する方法について学びましょう！

【修了生の経歴】茨城県で生まれ育ち、一人で見た光のページェントに感動したことがきっかけで東北ローに入学しました。

現在は、仕事はそこそこに、2人の娘の子育てと弁護士会野球部の活動の両立を目指して日々奮闘しています。

【担当】基本7法(できれば民事系科目)及び労働法

どの科目でも、「設問を良く読む」「問いに答える」ことにこだわって指導したいと思います。



修了生紹介

松村幸亮先生

(まつむらたかあき・弁護士・未修出身)



大学受験に失敗しても、L1で留年しかけても、
司法試験には合格できます(できました。)

失敗をしてきたからこそ勉強の難しさ、苦しさを理解できると思います。
頑張っても結果がでない方、勉強に躓いてしまった方、お気軽にどうぞ。
また、個人的には答案作成が好きなので、答案を見てほしい方もどしどしお申し込みください。

【修了生の経歴】

仙台二高→1浪→東北大学法学部→東北大学法科大学院(未修者
コース)→1浪→司法試験合格(2回目)→東京で就職→仙台に戻る(現
在)

丸崎潤也先生

(まるざきじゅんや・弁護士・既修出身)



インプットとアウトプットは全く質の異なる作業です。

試験における採点対象は答案のみであり、いかに頭の中で素晴らしい検討ができていても、それだけでは1点も加算されません。

逆に、しっかり検討はできているのに思うような成績を上げられていなかった人が、適切な答案練習によって飛躍的に成績を伸ばし、合格した例はいくつもあります。

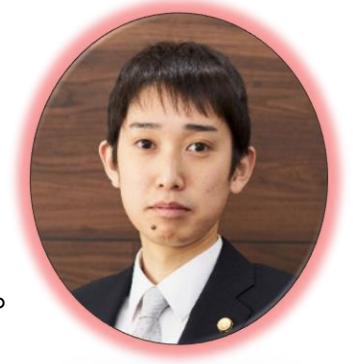
皆さんの答案練習の学習効果を最大化できるよう力添えしますので、合格を目指して一緒に頑張っていきましょう。

【修了生の経歴】青森県八戸市出身。東北大学法学部、同法科大学院を卒業後、司法試験合格(71期)。青森修習を経て、エール法律事務所に入所。

修了生紹介

中島一郎先生

(なかじまいちろう・弁護士・既修出身)



答案がうまく書けない、勉強の仕方がわからない。
そんな悩みは修了生オフィスアワーですぐに解消
しましょう。どんな些細な内容の相談でも大丈夫です。
答案の出来不出来も気にする必要はありません。
頑張る皆さんを全力でサポートします。

【修了生の経歴】

山梨県出身。東北大学法科大学院卒業後、司法試験合格(2019年)。現在、埼玉県法律事務所に勤務。

【担当】基本七法及び労働法の答案添削、学習相談

【対応アプリ】zoom

※ 中島先生のオフィスアワーはオンラインになります